

令和4年度国富町立本庄中学校 学校関係者評価

【教育目標】	「心豊かでたくましく、将来をしなやかに生き抜く生徒の育成」
【学校経営スローガン】	「ふるさとを大切に、夢を追い、心温かく集う我ら本庄中」 ～元気、勇気、笑顔、感性あふれる本庄中～

4 : とても良い 3 : 良い 2 : 少し悪い 1 : 悪い

I 教育目標について

番号	評価指標	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、「心豊かでたくましく、将来をしなやかに生き抜く生徒の育成」に努めようとしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員が何よりも大切にする事として「命、人権、平和」を掲げ、人権教育を基盤とした学習指導及び生徒指導、並びに特別支援教育を推進している。 ○ 「傾聴」と「承認」を心掛け、生徒一人一人に寄り添った支援を心掛けている。今後も職員一丸となって取り組みたい。 	3.1	3.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も生徒一人一人に寄り添う支援をやってほしい。 ○ 期待を込めている。

II 学校経営スローガンについて

番号	評価指標	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、「ふるさとを大切に、生徒の夢を育もうとしていますか。」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間を中心に、各学年、ふるさとの理解を深め、地域の方とふれあう学習活動を設定している。 ○ キャリア教育の充実を図り、総合的な学習を「地域の宝（人・もの・こと）」、「地域貢献」、「三年間をつないだ活動」で再構築し生徒が夢を追うための取組を推進していきたい。 	3.2	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内での人間関係も希薄になっている中で、意図して地域とつながる取組はとても大事だと思う。
②	学校は、「元気、勇気、笑顔、感性あふれる本庄中づくり」に努めようとしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により制限の多い状況下において、学校生活や各種行事等において多くの生徒が元気いっぱい、笑顔いっぱい過ごすとともに、いろいろなことに勇気をもって挑戦したり、自分のよさや個性・感性を生かしたりして生活している。 ○ 生徒アンケートによると、元気（91%）、勇気（75%）、笑顔（92%）、感性（83%）ある学校生活を送っていると回答している。今後も、一人一人に寄り添いながら、より丁寧な支援を行いたい。 	3.2	3.2	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナで大変だががんばってほしい。 ○ 生徒アンケートの回答が高い数字なのが良かった。 ○ 生徒アンケート結果から、子どもの本当の姿が伺え、ありがたい。

Ⅲ 重点取組事項について

(1) 夢を追うための「学力」を保障する学習指導・特別支援教育【知】

番号	評価指数	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、キャリア教育の充実による「学ぶ意欲」と「学びに向かう力、人間性等」の基盤の醸成に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒へのアンケートをもとに、キャリア教育で身に付けさせたい力を明確にし、全教育活動で意識した実践を行っている。 ○ 生徒のアンケートによると、72%の生徒が「授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答している。今後も将来の生き方や社会との関わり方と学びをつなげ、「学ぶ意欲」と「学びに向かう力、人間性等」の涵養に努める。 	3.0	3.3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のために「学ぶ意欲」と「学びに向かう力、人間性等」を考えて涵養に努めてほしい。 ○ 特別支援教育は特に時間と連携とスキルが求められる大変なところだろうと思う。よろしく願いたい。 ○ 特別支援教育は時間がかかり難しいと思う。 ○ 今後も楽しく真剣に授業をしてほしい。 ○ 各家庭の状況も様々なので生徒個人個人の自立する力をどう育てるか難しいことだと思う。
②	学校は、「知識及び技能」の確実な定着と「思考力、判断力、表現力等」の育成に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科の「見方・考え方」を働かせ、学習内容の確実な定着や、グループでの話し合いや、作品の製作や表現等の多様な活動を取り入れている。 ○ 今後もICTを活用しながら、教科の見方・考え方を働かせ、学びの本質に迫る授業づくりを行っている。 	3.0	3.2	3.2	
③	学校は、ICTの効果的な活用に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一台のタブレット端末を活用し、「いつでも、どこでも、誰でも」をモットーにほぼ全ての教員がICTを活用した授業ができるようになっている。 ○ 生徒の学力向上を目指し、より効果的なタブレット端末の活用方法を実践研究していく。 	3.0	3.0	3.1	
④	学校は、個別の教育支援計画・指導計画をもとにした個に応じた支援の充実を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援が必要な生徒について、共通理解を図りながら、個に応じた学習指導・支援を行っている。 ○ 特別支援コーディネーターを中心に、個別の教育支援計画・指導計画をもとにして個に応じた支援を組織的に行っていく必要がある。 	3.0	2.9	3.1	
⑤	学校は、生徒が楽しく真剣に学ぶ学習環境を整えていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒へのアンケートによると、84%の生徒が「ICTの効果的な活用ができています」と回答している。今後もタブレット端末等のICTに係る学習環境をはじめ、楽しく真剣に取り組む課題設定や授業改善に努める。 	3.1	3.1	3.3	
⑥	学校は、授業とリンクした家庭学習の習慣化を図っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業とリンクした課題学習の習慣化を図っているが、課題の在り方を見直す必要がある。長期休業中の課題も含めて、個に応じた対応ができるようにしたい。 	3.0	2.9	3.0	

(2) 夢を追うための「自己有用感」を育む生徒指導・特別支援教育【徳】

番号	評価指数	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、「傾聴」による多面的な生徒理解、チーム支援に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒へのアンケートによると、89%の生徒が「先生たちは、あなたの話や相談をよく聴いてくれる」と回答している。 ○ 今後も「傾聴」を大切に、生徒に寄り添いながら、多面的な生徒理解とチーム支援ができるよう努めていきたい。 	3.0	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も生徒の相談をよく聴いてほしい。 ○ 生徒のアンケート結果がすごいと思う。
②	学校は、積極的な「承認」を通じた「自己有用感」の育成に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒へのアンケートによると、93%の生徒が「先生たちは、あなたの頑張りやよいところを認めてくれる」と回答している。 ○ 積極的な「承認」を通し、それぞれがかけがえのない存在であることを自覚させ、より一層「自己有用感」を育てていきたい。 	3.0	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒のアンケート結果がすごいと思う。
③	学校は、人権教育、道徳教育の充実による、「受容的風土」のある学級（集団）づくりに努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権週間や毎週の道徳の時間等、学級担任のみならず全職員で取り組んでいる。生徒同士の「傾聴」と「承認」ができるように努める。 ○ 生徒のアンケートによると、92%の生徒が「学級は、互いを認め合う温かい雰囲気である」と回答している。 	3.1	3.3	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 92%の生徒が互いに認め合う温かい雰囲気があると回答しているのはいい。 ○ 生徒のアンケート結果がすごいと思う。 ○ 「受験を控えた級友たちのために」という言葉をよく聞いた。 ○ 受験に向けてお互いに支え合う雰囲気がある。
④	学校は、魅力ある学校づくりに努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導主事と特別支援コーディネーターを中心として「ルール」と「リレーション」の確立を基盤とする学校づくりに努めた。 ○ 生徒の「心の居場所」と「絆づくり」を通して自己有用感を育み、不登校の未然防止等に努める。 	3.0	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校対応に今後も努めてほしい。

(3) 夢を追うための「自己管理能力」を育む健康・安全教育【体】

番号	評価指数	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、将来の「自立」につながる基本的な生活習慣や食に関する習慣確立の支援に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者とこまめに連絡を取り合い、連携を図っている。今後も連携に努め、生徒の将来の「自立」を支援していきたい。 ○ 栄養教諭や学校栄養職員と連携し、食育に取り組んでいる。お弁当の日の実施や、給食時間に「食育タイム」を実施している。 	3.1	3.1	3.2	○ 今後も連携して支援してほしい。
②	学校は、「健康で安全な生活をするための「自己管理能力」の育成に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健日より「すこやか」や学校保健委員会、生徒や保護者向けの講話等を通して、睡眠の大切さや、毎日の生活リズムの大切さを啓発している。 	3.1	3.1	3.3	
③	学校は、「危機予知能力」や「危機回避能力」を育む防災・安全教育に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の安全点検を確実にし、修繕等をこまめに行っている。 ○ 通学路に坂や細道も多いため、自転車通生の転倒や、地域の方から通学マナーの指導を受けることがあった。「危機予知能力」や「危機回避能力」を高め、事故防止等に努めたい。 	3.1	3.0	3.0	
④	学校は、教育相談を充実させ、気軽に相談できるように努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生から順番に、スクールカウンセラーとの面談を全員対象に行っている。現在、1年生が終わり、2年生に実施中である。 ○ 生徒との信頼関係を深め、生徒が職員に相談しやすい雰囲気作りに努めるとともに、生徒の「相談する力」「サポート要請力」「SOS発信力」を高めたい。 ○ 生徒のアンケートによると、73%の生徒が「困ったことなど、誰かに相談することができている」と回答しているが、より一層「相談する力」の育成に努めたい。 	3.0	3.4	3.7	○ 今後も生徒との信頼関係を深めて、より一層「相談する力」の育成に努めてほしい。

(4) 「ふるさとを大切に、保護者と連携し地域と協働する学校」

番号	評価指数	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、学校だより、学級通信、学校HP、安心安全メール等による情報発信に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学級で学級通信を発行している。連絡事項だけでなく、学級の様子や生徒の一人一人のよさやがんばりが記述されており、温かな内容になっている。 ○ 学校だより「まがたま」やHP、安心安全メール等を使って情報発信を行った。今後も積極的に取り入れていきたい。 	3.4	3.5	3.9	○ 今後も学級通信で生徒一人一人のよさやがんばりを記述してほしい。
②	学校は、保護者や地域の方が気軽に相談できる雰囲気づくりに努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の方には相談をいただいているが、地域との関係づくりが今後の課題である。気軽に相談できる学校になれるよう努めたい。 	3.0	3.4	3.4	○ 今後も地域や保護者と連携してほしい。
③	学校は、保護者と連携した「デジタル・シティズンシップ教育（メディ・コン・デイ）」の取組に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTA 組織を活用し、保護者と連携したデジタル・シティズンシップ教育（メディ・コン・デイ）の取組を行っている。 ○ 生徒のアンケートによると、64%の生徒が「メディア（スマートフォンやゲーム等）使用の時間をコントロールしている」と回答している。4割近い生徒がコントロールできていない実態があるため、保護者と連携しながら取り組んでいきたい。 	3.2	3.2	3.6	
④	学校は、夢につながる地域の方等とのふれあいや協働の実践に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生は20年後の国富町の発展のために提言学習、3年生は福祉体験等、地域の方々等の協力を受けながら学習を行った。今後、全学年において地域の方々とのふれあい活動や、地域貢献活動を取り入れていきたい。 	3.0	3.0	3.2	○ 地域内の人間関係が希薄な中、意図的につながりをもとうとしていることがありがたい。

Ⅲ その他

番号	評価指数	学校としての主な取組や反省	保護者	教職員	評議員	評議員の意見
①	学校は、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、教育活動を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスクの着用、手指消毒、換気、三密を避ける等、感染症対策を行いながら教育活動を行っている。今後も継続する。 ○ 体育大会では、PTA 役員や学級役員等を中心に、感染症対策を行った。ご協力とご理解に感謝である。 	3.4	3.7	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後もコロナで大変だと思うががんばってほしい。 ○ 生徒に取組がよく伝わっているように見える。
②	学校は、コンプライアンスの推進に努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員へのアンケートの実施や研修等を行い、コンプライアンスに係る理解を深め、意識の高揚を図っている。 ○ 今後も職員一人一人がコンプライアンスを遵守し、信頼される学校づくりに邁進したい。 	3.3	3.5	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も信頼される学校づくりをお願いしたい。 ○ 先生方の評価が高いのは、自分たちが頑張っているという自負がある証拠だろうと思う。
③	学校は、一人一人の職員が適切に「人権感覚」を身に付けるよう努めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風通しのよい職場を心掛け、コミュニケーションをまめにとり「傾聴」と「承認」を大切にする雰囲気づくりに努めた。 ○ 全職員が何よりも大切にする事として「命、人権、平和」を今後も心掛けたい。 	3.1	3.4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後もお願いしたい。